

野口結衣さん

私のアメリカ留学前の TOEIC スコアは 535 点でしたが、留学後さらに半年間日本で勉強を続けてスコアを 805 点まで伸ばすことができました。スコアが伸びた理由として、留学中に英語に触れる機会が常に得られていたことと、TOEIC で高いスコアを持っている友人におすすめの参考書を教えてもらい、試験前に勉強したことが思い当たります。また、知らない単語に出会うたびに付箋の表に単語、裏には意味を書いて洗面所に貼り、洗面所に行くたびにそれらの単語を覚えるようにしました。これらことから、英語力向上のためには時間を有効に使いながら、自分に合ったやり方で勉強をすることが重要だと気づきました。今後も英語に触れる時間を増やし、英語力の向上に努めていきたいです。

曾山穂乃佳さん

テストを受けた直後はあまりできた自信がなかったので 720 点のスコアを見たときはとても驚きましたが、嬉しかったです。今回の TOEIC はリスニングに力を入れて勉強しました。公式問題集で聞き取れなくて間違えた問題はまずしっかりと精読し、オーバーラッピングやシャドーイングをしました。そして間違えた問題は、1 問につき毎日 20 回の音読を 5 日間続けて復習しました。そうすることで英語のスピードに慣れ、徐々に聞き取れるようになりました。また、速い音声と同じように自分が話せるようになることが嬉しくて、楽しみながらできました。次はリーディングにも力を入れて勉強し、さらにスコアを伸ばしたいです。

●用語解説●

・オーバーラッピング

英語教材の音声に自分の声を overlap（「重ねる」「重ね合わせる」という意味）させる学習法です。

英語の音声を聞きつつ、その音声のスク립トを目で追いながら、同時に声を出して読む練習方法です。

・シャドーイング

英語教材の音声を聞き、その音声より少し（2、3 語程度）遅れて、同じように発音し真似する学習法です。

この時、オーバーラッピングとは違い、スク립トは見ません。シャドーイングは文字通り、学習者が英語を shadow（「影のようにつきまとう」「尾行する」という意味）するトレーニング方法です。